

2015 Expert Collection

11月号通巻第374号



株式会社

エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

たよれるニッポン

3段ピックステッキ(S10)

ヘッドはクロモリ鋼、焼き入れ済みのピッケル形状。ただし、ピッケルではなく、あくまでもステッキです。



カラー(2色)・ワイン 最短 532mm×最長 1007mm 重量 325g

………シルバー 最短 499mm×最長 965mm 重量 320g

(バスケット大、小、ピックカバー、石突プロテクター付)

税込価格:¥12,960 (本体価格¥12,000)

3段ピックステッキにはバスケット大が
取付けられます。(直径96φ、押込式)。

バスケット大をつけるとステッキが
雪にもぐらずに行動できます。

右写真) 継続カラーワイン



バスケット大
税込価格¥1155

冬物準備の季節がスタートです。定番レッドバッドシリーズもお得な3点セットタイプもご用意しています。ご提案宜しくお願い致します。

便利なニッポン レッドバッドシリーズ

レッドバッドはピッケルのシャフトにセットできます。

その際は石突きの穴にスコップ柄部分のボルトをはめて蝶ボルトを締めて下さい。

専用のシャフトにセットする際も先端の穴にスコップ柄部分のボルトを入れてロックして下さい。

レッドバッドは4隅の10mmφ穴を利用してデットマンとしても使用可能です。



◆**レッドバッド(SN11)-DATA** -材質:ジュラルミン製。カラー:ピンク
サイズ:222 mm×258 mm。重量:365g。新雪が付きにくいショッキングピンク塗装がしてあります。最新型の細身のピッケルシャフトにもセットできます。税込価格:¥5,832(本体価格¥5,400)

◆**レッドバッド用シャフト(SN12)-DATA** -材質:ジュラルミン製カラー:ブルー
長さ:54cm 重量:275g 雪掘り能力がアップするD型グリップつき。シャフト上部の6mmロープを通す穴はスノーハーケン用。税込価格:¥5,400(本体価格¥5,000)

◆**レッドバッド用スノーソー(SN13)-DATA** -材質:特殊鋼(SK-5)製カラー:ブラウン(赤色焼付塗装)
サイズ:405 mm×25 mm。重量:115g レッドバッド用シャフトに収納でき、シャフトが柄にもなるラチェットつき。氷、雪用鋸。税込価格:¥4,968(本体価格¥4,600)

レッドバッドはシャフトが無くてもピッケルに装着でき、軽量化にも役立ちます。レスキュー等の必要性が無い登山では、これ以上便利なスコップはないです。

(新シリーズ)

◆**レッドバッドセット(ST19)** レッドバッド(SN11)+専用シャフト(SN12)+専用スノーソー(SN13)
レッドバッドを3点まとめてお得にセットにして販売致します。それぞれ専用のパーツなので、装着の不安もなく、スムーズに着脱可能となり、安心してご使用頂けます。
税込価格:¥14,040(セット本体価格¥13,000)
単体でお求め頂くより2000円お得になります。

負けるなニッポン クロスベグ(C10)

雪山キャンプの小さな働き者。E0J唯一の逸品です！

◆**クロスベグ(C10)**
材質:ジュラルミン製。カラー:シルバー
サイズ:長さ150mm×幅20mm×厚さ4.6mm
重量:17.5g
税込価格:¥772(本体価格:¥715)

使用方法は、クロスベグを十字に広げ貼り綱を中心位置に通して雪に埋めて使用します。



スノーシューズの季節が到来しました！以前にもお伝えしていますが、2015年5月よりスノーシューズは価格変更しています。先シーズン同様Sサイズの展開はございません。

勤勉なメイドインジャパン スノーシューズシリーズ

日本の民具・ワカンジキを現代風にアレンジした雪上歩行器。前後を反らしたので急斜面でも上り下りが楽に行動できます。

- アイスバーンでもスノーシューズM、Lは逆さにつける必要はありません。アイゼンの下にワカンを装着して行動してください。
- いずれもフレーム直径は22mm×1mm厚。爪はステンレス製。丈夫さと、靴につけやすい固定方式が人気で国内シェア随一。サイズが大きいほどに雪に対する浮力が増します。
- M、Lは鉄製 JIS トラスト中空 4×27 3 価クロメートリベットを採用。世界一耐久性の強い雪上歩行器です。
- M、Lとも爪高は49mm。ベルトは赤色。
- 固定バンドはユーザーが簡単に調整できるフリーサイズ。摩耗したらユーザーが交換できます。

強いぞニッポン

◆スノーシューズM(SN3)

税込価格:¥12,690(本体価格¥11,750)

◆スノーシューズM(F)フラット型(SN17)

税込価格:¥12,420(本体価格¥11,500)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。
爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:410 mm×182 mm 重量:770g



だんとつニッポン

◆スノーシューズL(SN4)

税込価格:¥13,068(本体価格¥12,100)

◆スノーシューズL(F)フラット型(SN18)

- DATA -

税込価格:¥12,852(本体価格¥11,900)
材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。
爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:441 mm×182 mm 重量:780g

スノーシューズ関連パーツ価格表

(全て税込価格)

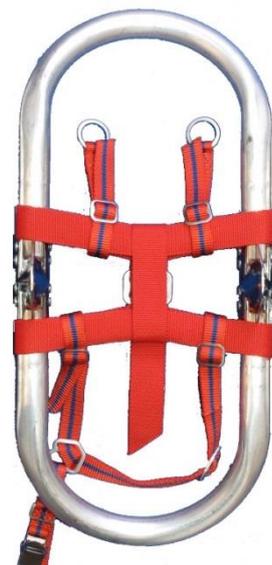
- 美錠(15mm幅):756 円/1 個
- 三股カン(15mm幅):540 円/1 個
- 中空リベット(4mm×28mm):円/130 個
- リングテープ(25mm幅)横バンド:713 円/1 本
- センターベルト(25mm幅)縦バンド:713 円/1 本

◆エキスパート型固定バンド(SN8)

税込価格:¥3,736 (本体価格¥3,460)

(内容)固定バンド一式

丸カン付きフロントバンド 240mm	4 本
三股カン付ヒールバンド 580mm	2 本
美錠付バンド 1080mm	2 本



やまのかたりべ
第60章 竹村新道、南真砂岳から晴嵐荘へ

7月後半から8月のお盆過ぎの夏山のハイシーズンを毎年山小屋のお手伝いに行く。数えると…今年で五度目。今回は水晶小屋さんでお世話になることに。晴天の日が多く、夏山は登山者でにぎわっている。私がお世話になる裏銀座の山小屋宿泊者の平均年齢は60歳を超えるのではないかと思う。皆さま健脚のご高齢者である。裏銀座が好きで毎年訪れる方も……。私もその一人。それぞれの夏山、素敵な思い出を持ち帰って頂けると嬉しく思う。

<ポイント1>

北アルプス「裏銀座」とは、烏帽子岳を起点とし終点は槍ヶ岳まで、およそ25キロメートルの縦走コースを指す。北アルプス「表銀座」とは、中房温泉を起点とし燕岳、大天井岳を通過し槍ヶ岳に向かう稜線コースを指す。

<ポイント2>

裏銀座コース全般にいえることだが、およそ標高2,500メートルを下ることのない約25キロメートル続く県境尾根を歩くと、いかにも北アルプスの中心部を縦走しているという豪華な気分になる。

全体の地質が花崗岩質のため、白い砂とハイマツのコントラストが美しく、三ツ岳手前のコマクサをはじめチングルマ、ウサギギクなどの高山植物が足元にゆれ、楽しい縦走を約束してくれる。

また、烏帽子小屋あたりでは望めなかった赤牛岳や水晶岳が、西下の黒部川支流東沢谷を越えて雄大に望まれるのも大きな見どころだ。

野口五郎岳の広々とした山頂は裏銀座コース中の最高点らしく大展望である。槍ヶ岳が左には急峻な北鎌尾根を、右にはややなだらかな西鎌尾根をのぼし圧巻である。なお、五郎池がひっそりとたたずんでいる南西のカルド地形もこの山の特徴である。

前述した高山植物のほか、ハクサンイチゲ、シナノキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ミヤマキンバイ、コケモモなどがある。(信州山岳ガイド参照)

8月24日(月)

前日に小屋の手伝いを終えた私。天気良ければ山の中でゆっくり一日過ごしてから下山しようと思っていたが、なんと台風14号発生し向かってきているとの事。また秋雨前線の影響もあり、明日から天気は下り坂という情報を耳にする。せっかくなら晴天の日に気持ちよく下山したいという思いもあり、数時間悩んだ結果、本日下山する事を決める。今までお世話になった寢床を掃除し、ザックに荷物をぐいぐい詰める。押し込むと表現した方がいいくらい適当な荷造りになってしまう。

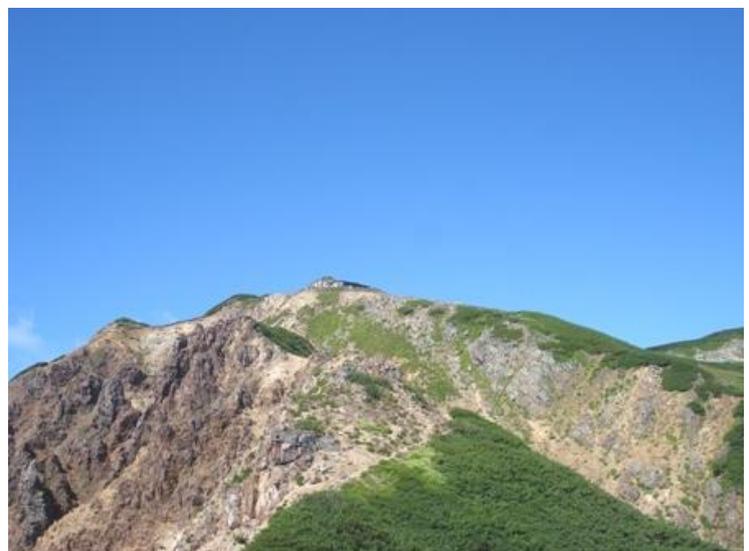
9時30分 水晶小屋出立

一か月共に働き、寝食共に過ごしたスタッフと握手でお別れ。

私以外のスタッフは小屋閉めまでいるとのこと。体調に気を付けて頑張ってください。

一か月、ありがとうございました～！！

この時既に南方面は厚い雲に覆われ始めていた。



(写真中央 水晶小屋)

いつもは交通の便など考え新穂高温泉に下山しているが、今回は高瀬ダム方面に下山。歩いたことのない竹村新道を下る事にする。振り返ると今、別れを告げた水晶小屋が小さく見える。この風景をみる度にすごいところに建っていると再認識する。



(一番右 水晶岳)

東沢乗越までやせた尾根を歩く。左斜面は茶色の岩肌が露出されている。右を見れば剣岳、黒部湖が…。本当に展望が素晴らしい。東沢乗越を過ぎると大きな岩が出没。数年前に通った事があるがすっかり忘れていた。ルートを探しながら岩の上を歩く。マーキングがしっかりされているので、迷うことは無いと思うが天気の良い日は注意。

10時50分 裏銀座縦走コースと竹村新道に向かう分岐に到着

眼下に水が干上がって小さくなった五郎池が見える…。よくクマが出没するスポットとなっているが今回は遭遇する気配はない。逆に何処かで我々人間の事を眺めているかも…。



裏銀座コースから外れ、竹村新道へ。

既にこちらのコースにはガスがかかって来ている状況。天気が良ければ、硫黄尾根の奥に槍ヶ岳がカッコよく姿を現しているであろうに…晴天時は北鎌尾根も見えているのだろうか？

<ポイント3>

北鎌尾根とは、槍ヶ岳に登るバリエーションルート。ルートを探す技術はもちろん、岩に登る技術も必要とされるコース。

最初のトラバースを過ぎると広い稜線に。ここで小休憩。

チョコでエネルギー補充。

竹村新道はところどころやせ尾根の箇所、細いガレた斜面がいくつかある。また強風によりハイマツが面白い形をしている。自然が作り出した芸術作品。

南真砂岳までアップダウンはあまりないが、南真砂岳の山頂直下から登りになる。

景色がよかったらこの稜線気持ち良さそう。また歩きに来よう！



(急斜面のガした登山道)



(南真砂岳は生憎の展望)

11時45分 標高2713メートル南真砂岳到着

山々の上部にはガスがかかっていて展望ほぼなし。大好きな裏銀座の山々の頂上は厚い雲の中に姿を隠した状況。また来るからね〜と挨拶し早々に山頂を後にする。

さてここからが本格的に下る口~~~~~ングコースに…。道標みて思わず気合いが入る。「長いです。気を付けて！」と書かれている。

ひたすら下る。ところどころに階段やロープが設置されている。途中お花畑も広がっているが、数箇所やせ尾根などところがあるので注意。ブルーベリーの実がなっていたので歩きながらお味見。

ん〜、おいしい！

下る下る…樹林帯の中に突入。しばらく下ると、今度は湯俣岳に向かって登り返しがはじまる。登り返しがきついときいていたが納得。何せ樹林帯のため景色も楽しめず、ひたすら歩くのみ。このコース下山時に楽だと思って使用する登山者もいるが、この登り返しを知らないと気持ちが凹みそう。

12時50分 標高2379m湯股岳到着
景観無し。樹林帯の中にひっそり道標が。
不思議な山頂。

ここから晴嵐荘という竹村新道の登山口
となる宿を目指し、さらに下りが続く。

麓が見えるとホッとするが…

まだまだ下の方。

展望台と言う標識があるが厚い雲に覆われた山々。

晴れた日は何が見えているのか？

と調べてみたところ、逆から登ってくると
ここで初めて「槍ヶ岳」が見えるとのこと。



眼下には湯俣川が。国立指定天然記念物となっている噴湯丘は見つけれず。
何処かにあるはずなのだが……



<ポイント 4>

高瀬渓谷の噴湯丘は、長野県大町市の湯俣温泉付近にあり、タクシーの終点から平坦な道を 10 km ほど歩くことになる。噴湯丘という名前がついているが、実際は噴泉塔に成長している。

温泉が自然に湧き出す場合、天に向かって高く吹き上げたり(噴泉)、一定の時間間隔で吹き出したりする(間欠泉)など、特殊な湧き出し方をすることがある。また、温泉が湧き出す場所付近には、噴泉塔、噴湯丘、珪華や石灰華ドーム、膠状珪酸(こうじょうけいさん)、球状石灰華、鱗状珪石(じじょうけいせき)、北投石など、さまざまな温泉沈殿物を残すことがある。温泉関係では、このような現象や生成物が、「自然界における希少性を有し、学術上の価値が高い」として天然記念物の指定対象となっている。

(極楽湯 ホームページ 第 32 回コラム参照)

14 時 00 分 晴嵐荘到着

到着するころには膝が笑っている。足の筋力がかなり落ちてしまっているようだ。明日からひどい筋肉痛になる予感…。

晴嵐荘の庭先では既に数人の登山者がビールで乾杯している。

ん〜汗をかいた後のビール、美味しい事でしょう。

水晶小屋でお手伝いしていた時に、清嵐荘のスタッフの方が遊びに来てくれた事もありご挨拶に受付へ。遊びにいらしたスタッフの方が笑顔で迎えてくれる。入浴後、しばしスタッフの方と歓談。この周辺は紅葉の時期がお勧めとのこと。宿は 10 月末で終わってしまう様だが、秋のシーズンに温泉旅行で訪れるのもいい。

私の今年の山小屋生活は終了。短い期間だったがお世話になったスタッフ、出会った登山者の方々、皆様に感謝。

また下山後も仕事に励みます！宜しくお願い致します！！

<ポイント 5>

湯俣温泉 晴嵐荘 営業 7/1~10 月末まで

温泉有り、外来入浴も可能(一人 500 円)

テント場あり。

詳細は、晴嵐荘のホームページを参照

<http://seiransou.com/>

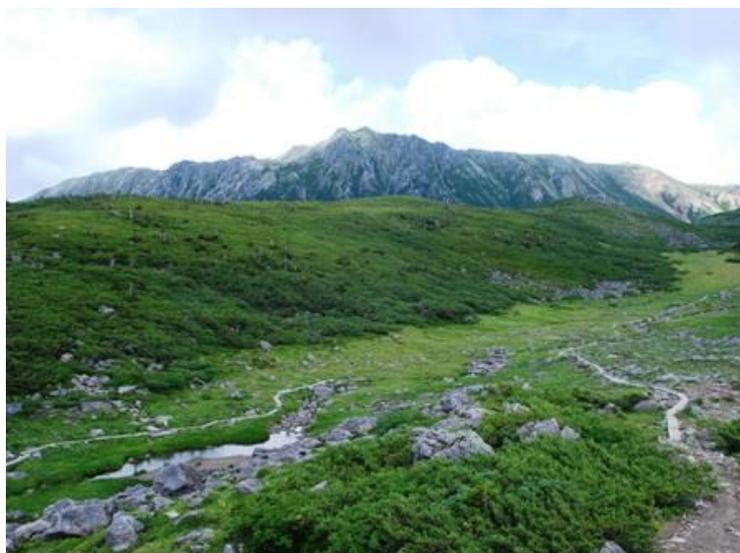
水晶小屋出発 9 時 30 分

竹村新道分岐 10 時 50 分

南真砂岳 11 時 40 分

湯股岳 12 時 50 分

晴嵐荘 14 時 00 分

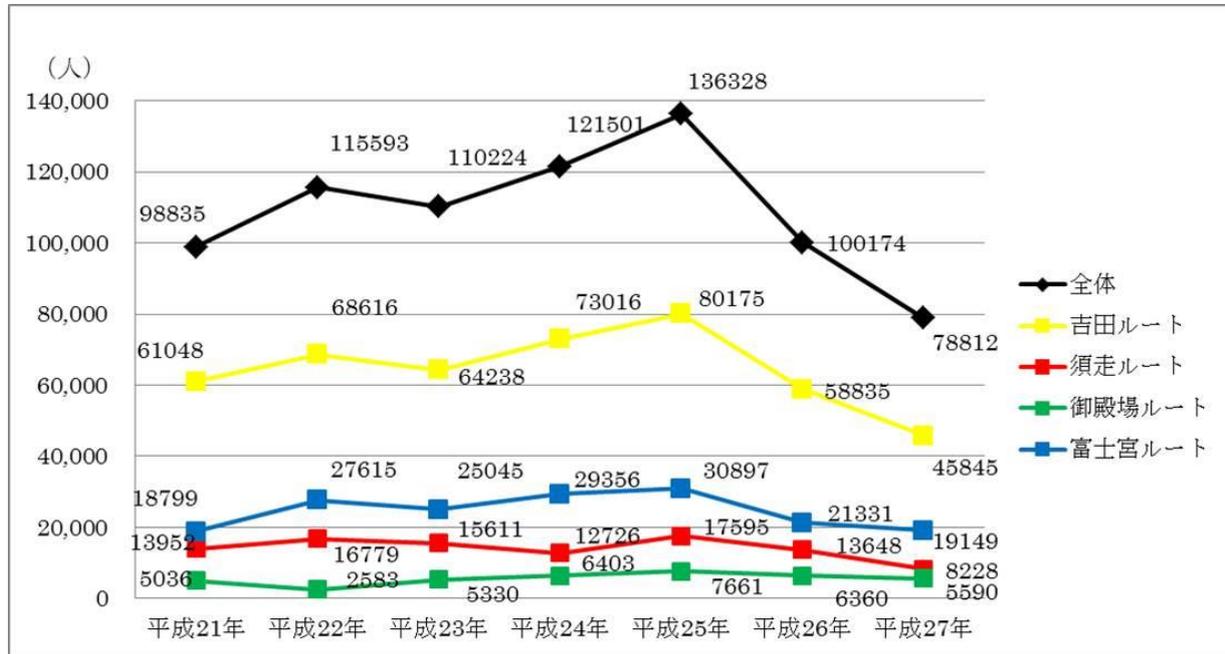


(雲ノ平方面から見た水晶岳)

平成27年夏期の富士山登山者数の中間報告(第1回)が発表されました。

環境省では、富士山の登山者数を把握するため、平成17年から各登山道の8合目付近に赤外線カウンターを設置して登山者数調査を実施しています。

富士山8合目における平成27年7月1日から7月31日までの登山者数の合計は約7.9万人(昨年同時期との比較で約2.1万人の減)。(環境省 WEBサイト参照)



グラフ図1:富士山の全登山者数及び各登山道別登山者数の比較(7月1日～7月31日)

昨年対比で2.1万人減ですが、昨年自体もこれまでと比較すると、大幅に減っていた状況ですので、今年の減少がいかにか大きいが伺えます。悪天候や火山への懸念の影響などとも言われています。8月中の登山者数発表は9月の中旬頃を予定しているそうですが、お盆明け以降の天候を見る限り、減少しているのではないかと予想されます。

世界文化遺産登録で大幅に登山者数が伸びたのは平成25年のみ。翌年から減少傾向となります。

登山は別として、周辺の観光産業はどうなのでしょう。世界文化遺産登録時には、周辺地域の宿泊施設などのスタッフが喜んでいたのが印象的でした。実際に登録後の平成25年は富士山五合目、本栖湖・精進湖・西湖周辺を中心に観光客数は前年比13.5%の増加というデータも存在します。

その効果は今現在も続いているのか興味深いところです。その点に関する平成26年以降の情報がまだあまり無いようです。ただ、箱根周辺の火山の問題もありましたので、場所によっては厳しい結果が予想できます。

私見ですが、国内の世界遺産も増えており、その効果も以前ほど持続性がないのかもしれませんが。現時点では19の世界遺産が国内にあり、自然遺産は白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島の4つです。山好きな人であれば、自然遺産はパッと思いついても、その他の世界遺産を全部言える人は少ないのでは。認定地域が増える事で、その希少性は減って行きます。そのため、世界遺産効果も初期の頃よりは持続性が落ちているのではないかと推測されます。

登山用品メーカーや小売店にとっては、もう少し富士山需要が続いてほしいと願ってしまうところです。8月登山者数の集計発表もチェックしたいと思います。